

平成18年9月25日

## 平成18年度 都市環境プロジェクト実習（必修：2期，月曜1・2限）

### 授業概要

都市環境デザイン学科1年生の導入教育は、前期の都市環境プロジェクトと後期の都市環境プロジェクト実習（以下、プロジェクト実習と呼ぶ）で構成されています。プロジェクト実習は、問題を発見し、その解決策を提案するエンジニアリングデザイン能力を養成する科目の一つです。1チーム6～8名に分かれて、それぞれの調査研究テーマを決めます。各チームの調査研究テーマは、地域の環境関連問題の中から、現場の有無、難易度などを大学側が考慮して用意したテーマの1つを扱います。そのテーマでの最終的な検討課題の絞込みは学生に任せます。

調査研究活動は学生達の自主的な学習活動と位置づけ、必要最低限のマニュアルのもと、できるだけ現場において調査研究を行います。また、中間報告会を開催することにより、学生達自身が進捗状況を確認できるようにします。調査研究報告会は、全チームが口頭発表し、教員・外部アドバイザー・学生によって評価します。学生の積極的な質疑は成績としても評価します。また口頭発表の他にポスターと報告書を作成します。ポスターはポスターセッションで発表します。これらを別途評価し、3部門の総合評価も行います。

### 学習到達目標

- 1) 問題点を明らかにする調査方法を組み立てることができる。
- 2) インタビューを行って疑問点を解消することができる。
- 3) チームワークによって、プロジェクトを遂行できる。
- 4) 調査結果を基にして、問題解決に繋がる提案を行うことができる。
- 5) パワーポイントやポスターを用いて調査研究結果を分かりやすく報告することができる。
- 6) 調査研究結果を分かりやすい報告書としてまとめることができる。

### 授業計画

第1回	9月25日（月）	ガイダンス、各チームのテーマ選定と調査計画の立案とその報告
第2回	10月 2日（月）	調査研究活動（1）とその報告
第3回	10月23日（月）	調査研究活動（2）とその報告
第4回	10月30日（月）	調査研究活動（3）とその報告
第5回	11月 6日（月）	調査研究活動（4）とその報告
第6回	11月13日（月）	調査研究活動（5）とその報告
第7回	11月20日（月）	中間報告会（パワーポイントによる口頭発表）
第8回	11月27日（月）	調査研究活動のまとめ（1）と報告
第9回	12月 4日（月）	調査研究活動のまとめ（2）と報告
第10回	12月11日（月）	調査研究活動のまとめ（3）と報告
第11回	12月18日（月）	調査研究報告会（パワーポイントによる口頭発表） ポスターセッション（ポスター展示による発表）
第12回	12月25日（月）	報告書の最終調整と提出
第13回	1月15日（月）	各部門の評価と総合評価の発表
第14回	未 定	予備日

### 成績評価

調査研究活動の貢献度 60%，報告会の貢献度 20%，ポスター及び報告書の貢献度 20%の総合評価

## 都市環境プロジェクト実習（１年後期）について

後期に開講される都市環境プロジェクト実習は，前期の都市環境プロジェクトで学んだ内容を参考にしてテーマを一つ決め，６～８人でチームを作って調査し，まとめて発表する科目です。

チームは，ＡＡセミナーのメンバーで編成することにします。

実習の概略は，次のとおりです。

調査テーマを決定する。後期の履修ガイダンス時に調査テーマの一覧を示しますので，そこから調査テーマを選んでください。このとき，他のチームとテーマが重ならないように調整します。

調査計画を立てて報告する。このとき，役割分担も決めます。

調査を実行する。各テーマには，アドバイザー教員（別紙参照）がいますので，必要に応じて教員を訪問し，調査方法についてのアドバイスを受けて下さい。また，学内の PC によるインターネット調査だけでなく，できるだけ学外調査を実施します。

調査結果をまとめる。

中間発表(パワーポイントによる口頭発表)を行う。

調査結果を基にして，調査テーマに対するチームの意見をまとめる。

調査結果の報告（パワーポイントによる口頭発表）を行う。

ポスター（Ａ１サイズ）を作成して，ポスター展示と説明を行う。

報告書を作成し，提出する。

担当者（大東，堀内，酒造，鷺見）

## 都市環境プロジェクト実習（１年後期）のテーマについて

実習テーマ	アドバイザー教員
1. 住宅地の道路を造るときに必要なことを考えてみよう。	舟渡先生，嶋田先生
2. 家庭から出た資源ゴミ，不燃ゴミ，可燃ゴミの処理方法について考えてみよう。	坂部先生，大東先生
3. 大規模地震が起こることを想定して，ライフライン（電気，ガス，上下水道）を確保するための対策について考えてみよう。	事口先生，酒造先生
4. 広域地盤沈下を止めるための対策と地下水の有効利用について考えてみよう。	大東先生
5. 中部国際空港(セントレア)を建設する際に行われた環境影響評価(環境アセスメント)について考えてみよう。	坂部先生，大東先生
6. 交通渋滞を緩和するための対策について考えてみよう。	舟渡先生，嶋田先生
7. 自動車の走行によって発生する騒音や振動を減らすための対策について考えてみよう。	舟渡先生，嶋田先生
8. 名古屋市内を流れる堀川の水質を悪化させている原因について調べて，水質を改善するための対策について考えてみよう。	堀内先生
9. 土壌や地下水の汚染に対する最適な浄化対策について考えてみよう。	棚橋先生，大東先生
10. ヒートアイランド現象を緩和する対策について考えてみよう。	下島先生
11. 建設材料のリサイクルの方法について考えてみよう。	木全先生
12. 各種建物や道路・橋・ダム他，公共構造物を長持ちさせるための対策を考えてみよう。	酒造先生，水澤先生
13. 都市域で起きる水害の防止対策について考えてみよう。	鷲見先生
14. 藤前干潟を保全する対策について考えてみよう。	長谷川先生，大東先生
15. 都市域で森を作る方法について考えてみよう。	長谷川先生，大東先生
は学外の教員	

\* 各チーム（11チーム）が，重複しないようにこれらの中からテーマを選ぶ。

## アドバイザー教員（学科教員）の連絡先

学内のアドバイザー教員に質問等がある場合には、下記の連絡・相談の手段がある。また、現地調査で当日時間内に来学して報告できない場合には、下記の学科掲示板および E-mail を利用した報告を許可する。報告の形式については、別紙を参照すること。

**研究室訪問**：表 1 の研究室へ。オフィスアワーの時間帯の訪問が望ましい。その他の時間も、在室時の訪問や事前に連絡調整してからの訪問も積極的にしてよい。

**電 話**：052-612-5571（学科代表番号、教員へ中継してもらう。9:00～17:00）

**E-mail**：表 1 を参照のこと。

**学科掲示板（質問用紙）**：<http://godos2.daido-it.ac.jp/Students/title0.asp?ASPT=2>

この入り口から、「06 生以降」「デザインマネジメント」「都市環境プロジェクト演習」を選び、「質問・意見」ボタンから入力すること。利用方法がわからない場合には、入学生ガイダンス時に配布された、「新入生の手引き」の「オンライン授業サポートの手引き」10 ページ以降を読むこと。

表 1 学内教員の連絡先とオフィスアワー

教 員 名	白水校舎 研究室	E-Mail	オフィスアワー
事口壽男（ことぐち）	4220	koto0422@fs02.daido-it.ac.jp	月・5
水澤富作（みずさわ）	4210	mizusawa@fs02.daido-it.ac.jp	火・木の 12:15-12:50
酒造敏廣（みき）	4211	tmiki@fs02.daido-it.ac.jp	月・5, 金・5
大東憲二（だいとう）	4214	daito@daido-it.ac.jp	月・5
棚橋秀行（たなはし）	4226	tanahasi@daido-it.ac.jp	火・3
木全博聖（きまた）	4221	kimata@daido-it.ac.jp	月・5
下島栄一（しもじま）	4223	shimoji@daido-it.ac.jp	月・5
堀内将人（ほりうち）	4207	horiuchi@daido-it.ac.jp	月・5
鷺見哲也（すみ）	4212	t-sumi@daido-it.ac.jp	月・火の 5 限と昼休み
舟渡悦夫（ふなわたし）	4222	funa@daido-it.ac.jp	月・5
嶋田喜昭（しまだ）	4219	shimada@fs02.daido-it.ac.jp	月・5

オフィスアワーとは、研究室を訪問し教員に質問できる時間・制度のこと。オフィスアワーは、例えば「月・5」は月曜 5 限のこと。5 限は 16:20～17:50。その他の時間帯も在室時や、事前に連絡調整しての訪問も積極的にしてよい。

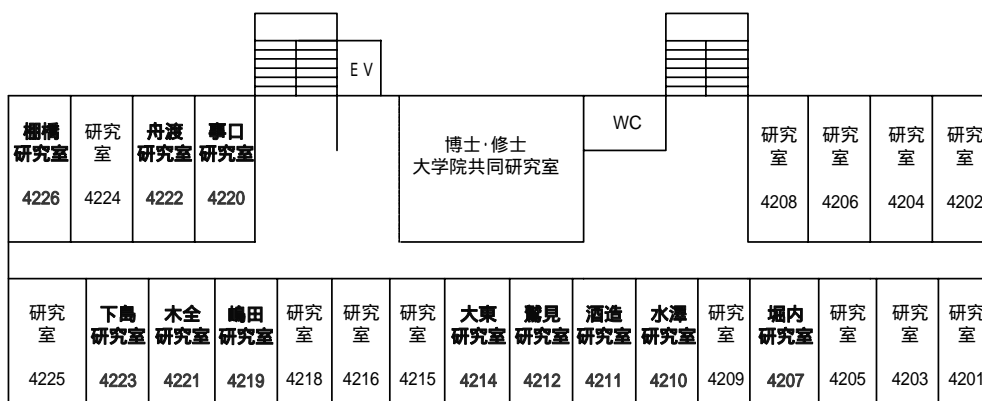


図 白水校舎 4 号館 2 階：都市環境デザイン学科 教員の研究室

## 調査研究活動と報告について

### 1. 調査方法・とりまとめ方法には、代表的なものとして、下記のように分類できる。

- 現地調査(学外に出て、フィールドでの調査)
- 資料調査(学外に出て、資料を集める調査・・・公立図書館・都市センターなど)
- 聞き取り調査(学外に出て、インタビューやアンケートによる調査)
- アドバイザー教員に相談・質問(学内研究室)
- インターネットを利用した調査・資料収集(学内 PC を利用)
- PC 上での資料等の整理のための作業(学内 PC を利用)
- PC 上で、パワーポイント・ワードでのとりまとめ作業(学内 PC を利用)

### 2. 第 2 回～第 6 回、第 8 回～第 10 回での調査研究等の作業について

- ・基本的には調査研究活動を自主的に行う。教員は直接には行動を管理しない。
- ・インターネット資料収集やとりまとめのための PC の利用については、月曜日は 4 号館 4 階の PC 室を 8:30～20:30 まで利用できる。(他の日も授業がなければ利用可)。利用のルール(飲食等禁止)を守ること。学生ホールも PC 利用可。
- ・グループの報告義務： 毎回、グループの報告が義務づけられている。11:30 に 4101 教室に集まり、その日も含めた 1 週間の活動報告を、グループの代表者が、1 分程度で口頭ですること。報告内容は以下の通り。

この 1 週間(この日も含めて)の活動の概要。

- どういう方法で、どういった内容を調査して、何が得られたのか報告する。(メインの報告)
- 予定・期待していた内容・情報が(どの程度)得られたのか。(遅れているか、問題ないか)
- 今後の調査の方針について、変更があれば変更の理由も含めて述べる。

来週までの活動予定。

- 特に、学外での調査活動を含む場合には、日付・時間、場所等も具体的に報告すること。

- ・個人の報告の提出義務： 別紙の報告書をコピーして記入し、その日(月曜日)の 17:00 までに、白水事務室に提出すること。内容は、上記に加え、この 1 週間であなたが実施したり貢献したりした内容も記すこと。この報告書の Word ファイルは、<http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/porobj/proj.htm> (本授業のホームページ)からもダウンロード可。

#### ・学外での調査活動について：

- 月曜日の当日に学外で調査活動を行う場合は、11:30 の集合(口頭の報告)は義務づけない。
- 学外調査は実施前の授業報告時まで、日時・場所・面談相手などを知らせること。
- 学外調査(面談)には、TA か学科教員が付き添う。
- 交通費が各グループ 5000 円程度まで使用できる。(精算は事後)
- 個人の報告書の提出は上記の通り、例外なく義務づけられる。月曜 17:00 までに白水事務室に提出。

### 3. その他

- ・4311 教室は使用しない。
- ・TA が 4 名いる。紹介は初回に行う。主な役割は、テクニカルなサポートと、学外調査の付き添い。